

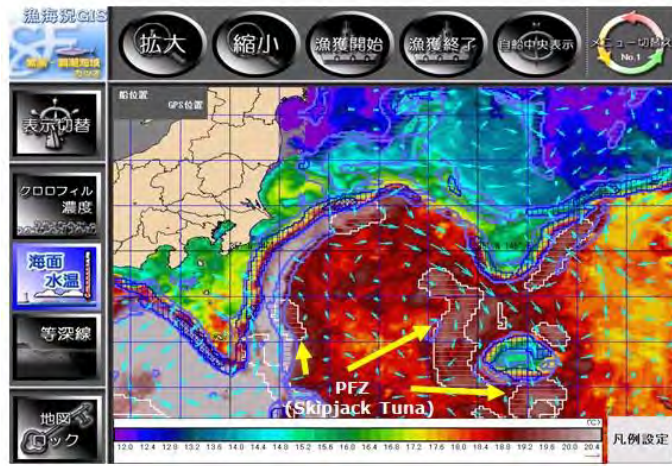


日本発の衛星データプラットフォーム Tellus

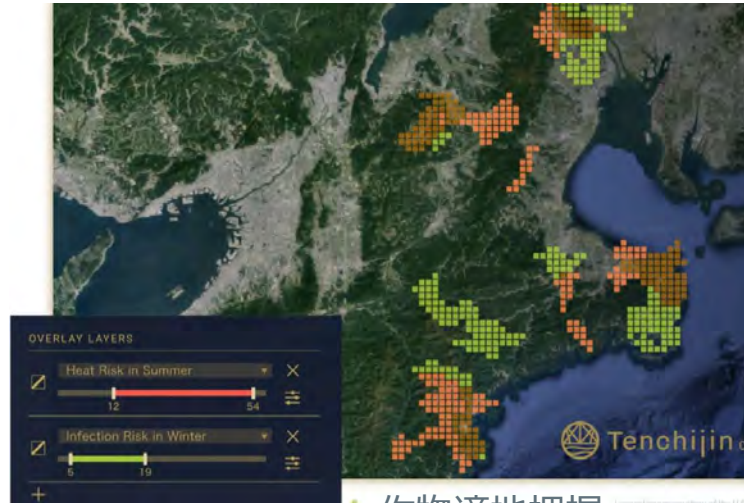
2020年7月6日
「宇宙利用の現在と未来に関する懇談会」

さくらインターネット株式会社
事業開発本部 クロスデータ事業部
運用チームリーダー 牟田梓

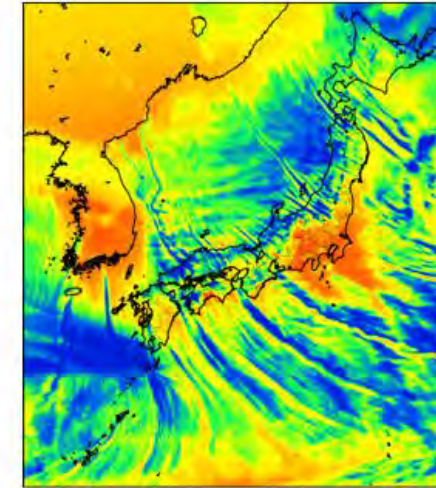
衛星データは様々なところで活用されている



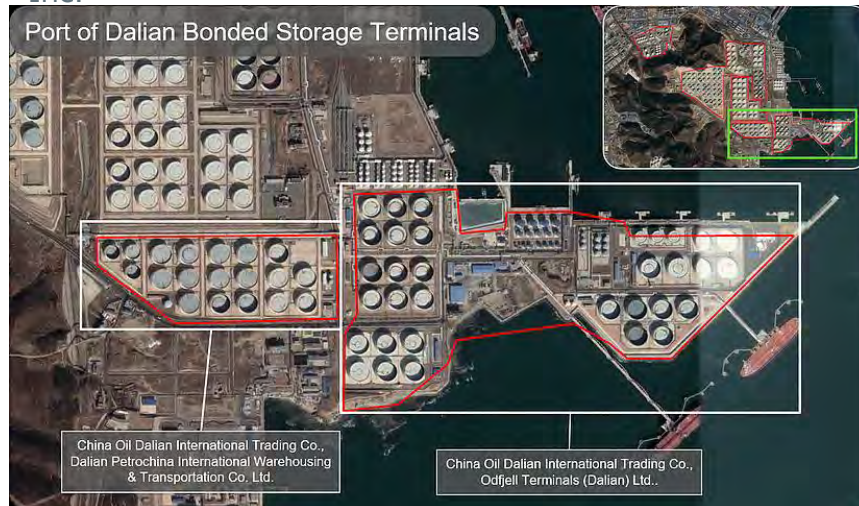
海流による漁場予測
©Green & Life Innovation, Inc.



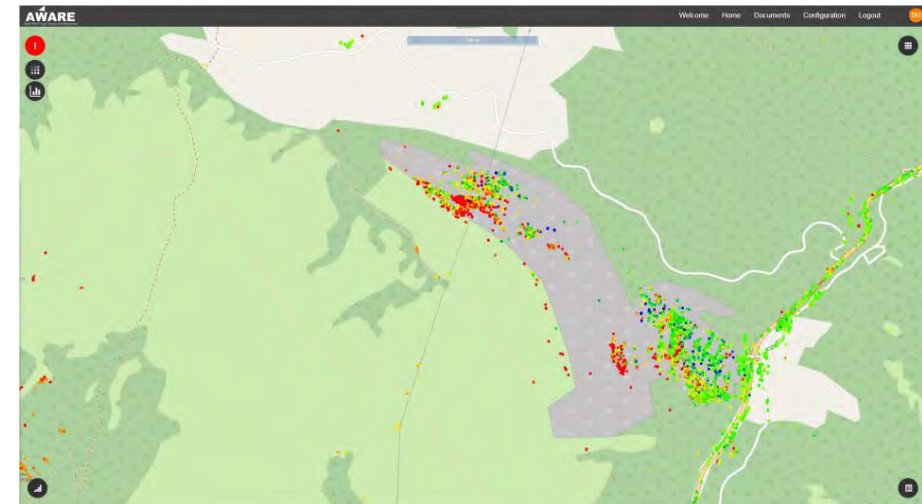
作物適地把握
©天地人



太陽光電力管理
©JWA



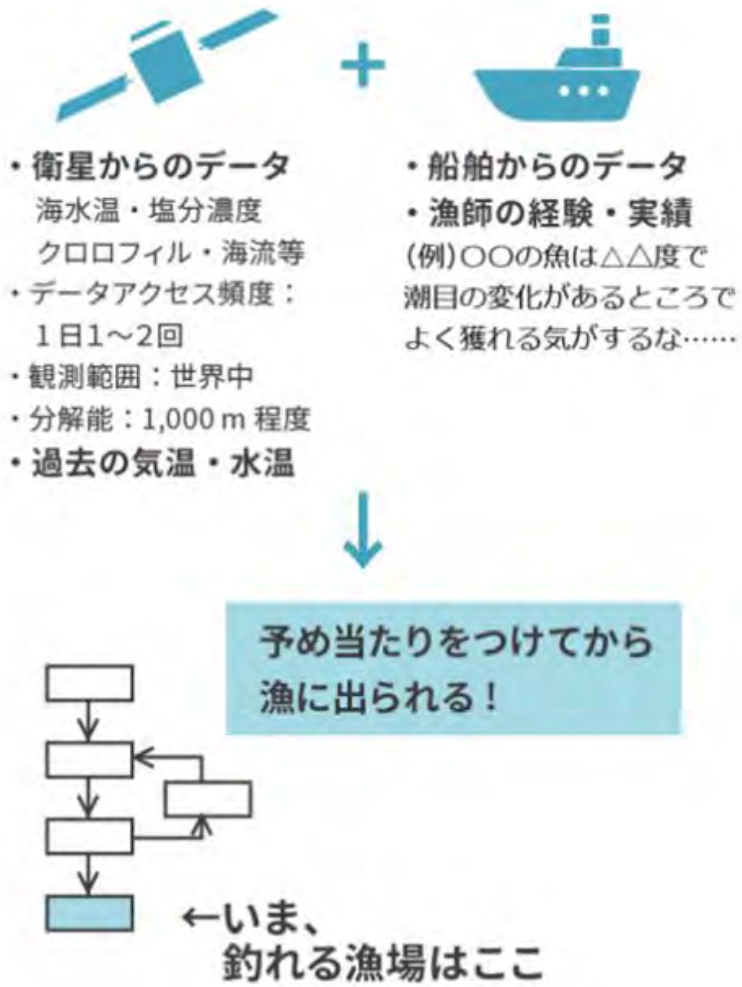
石油タンク監視
©Ursa Space Systems



陥没の検出
© AWARE e-geos

事例①：海流による漁業予測

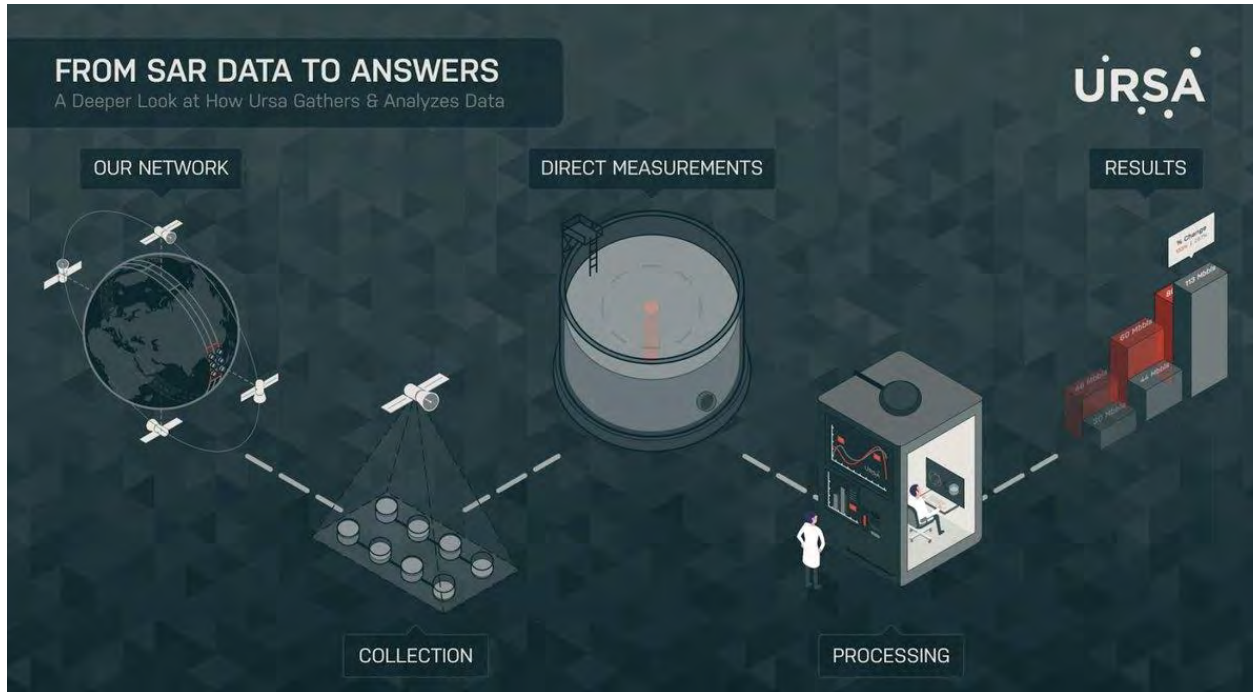
①過去のデータから予測モデルを作成



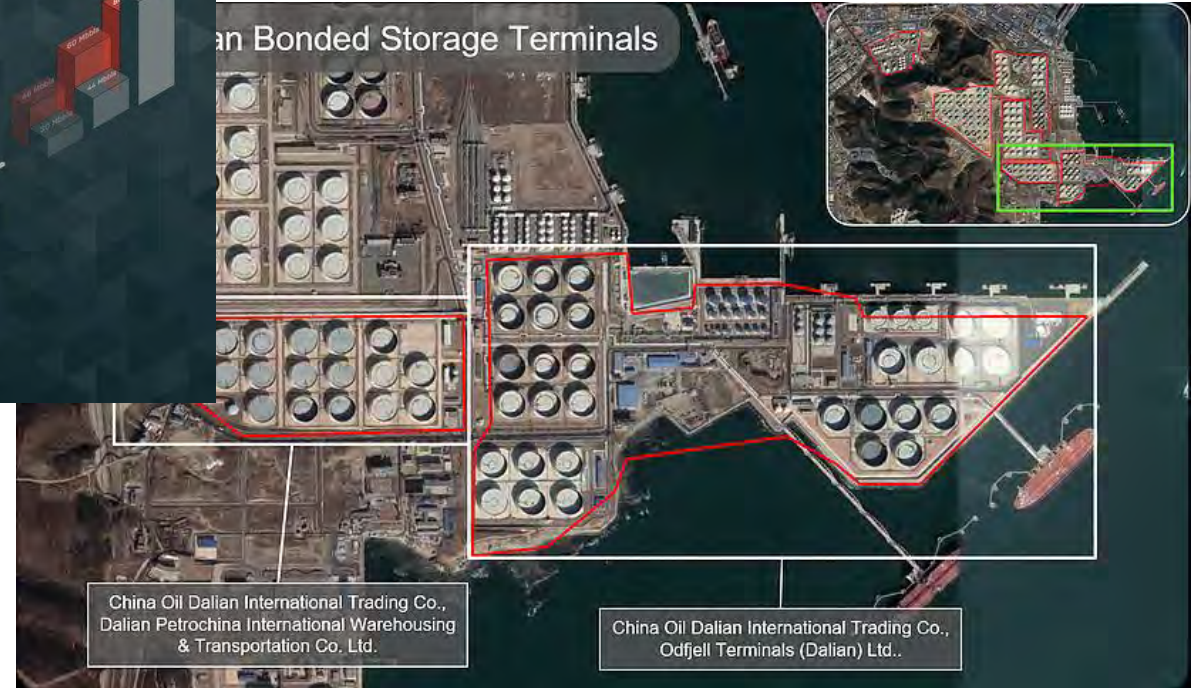
②当日の観測データを使って漁場範囲を予測



事例②：石油タンク監視による株価予測

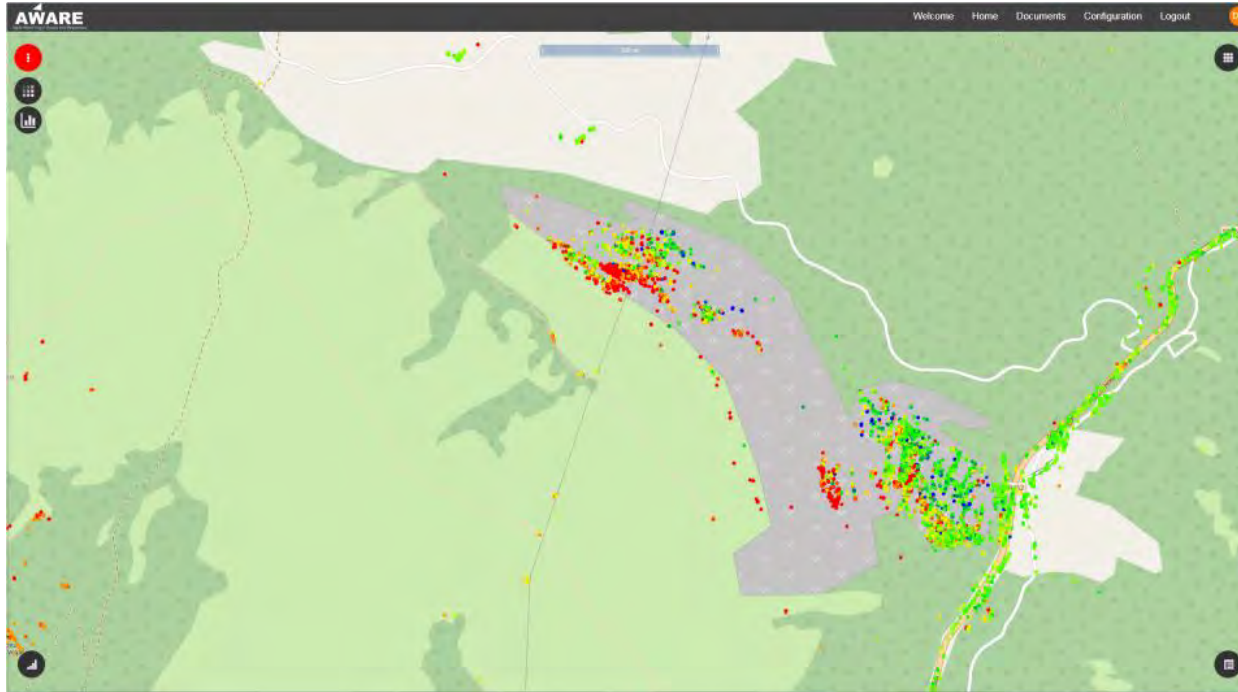


石油タンク監視
©Ursa Space
Systems

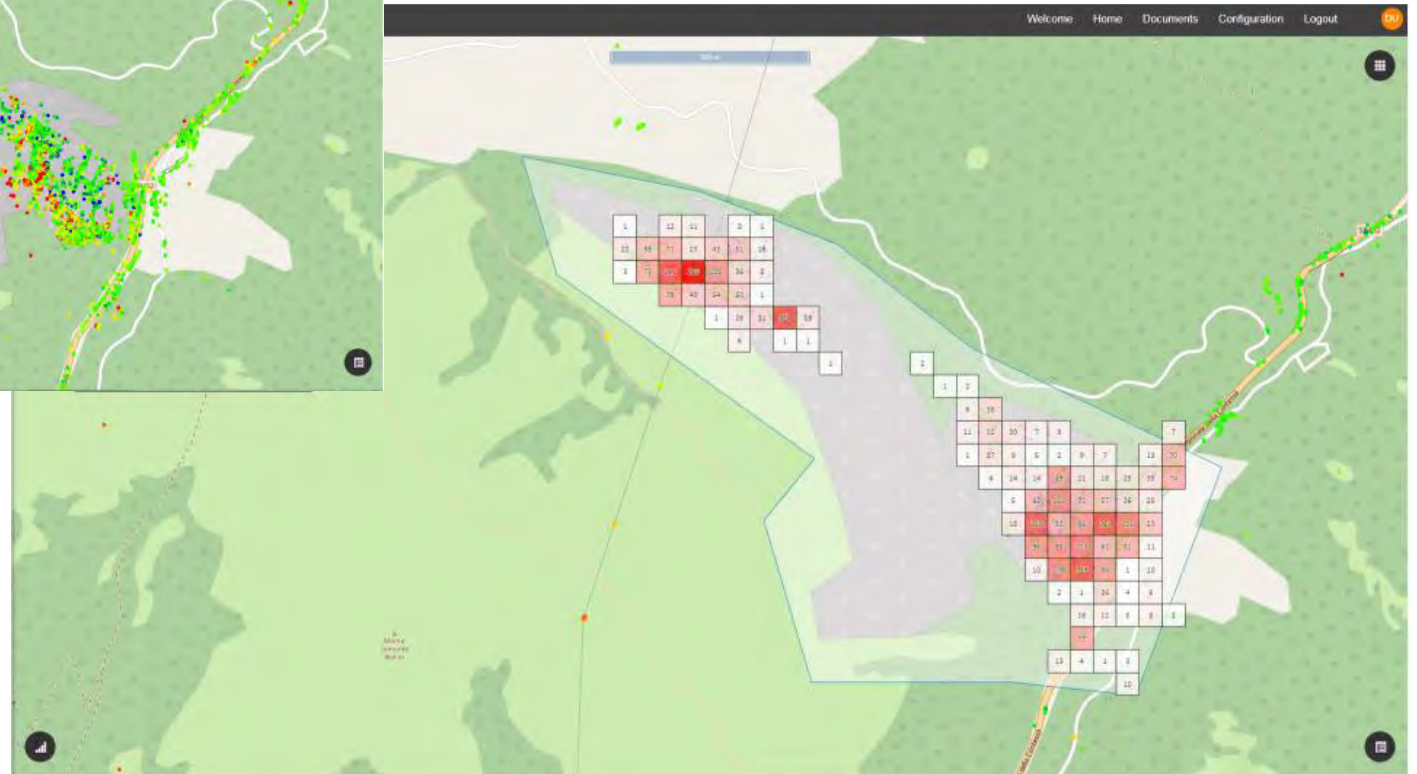


Source: Google Earth
Image Credit: Andrew Morse/Ursa

事例③：地盤の沈下・隆起を検出し、インフラ監視




AWARE
Agile Watching of Assets and Resources



<https://www.e-geos.it/#/hub/hubPlatforms/platform/platform-aware>

データプラットフォームでの衛星データ利用が拡大しています



アメリカ

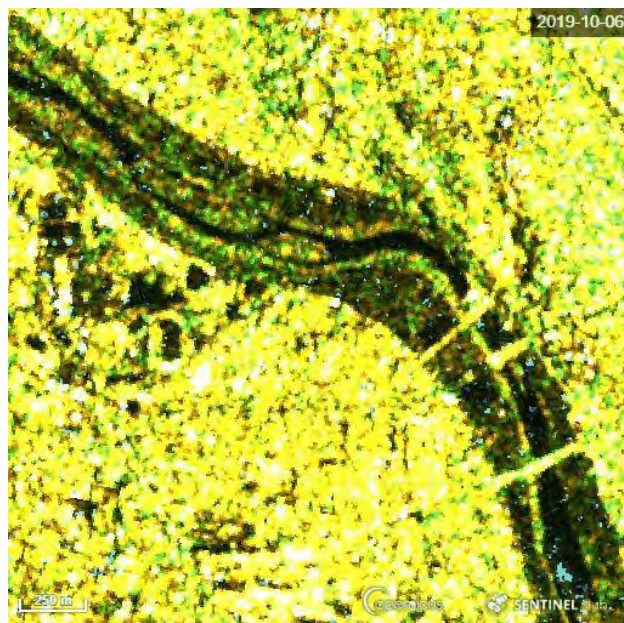


欧州



中国

定期的に、広範囲を観測し、無料で公開している



衛星データのオープン化&ビッグデータ化による経済効果が 各国で見えてきている

